

科学あそび講座 7月25日



DNAを楽しく学ぶ

「DNAってなんだろう」をテーマに細胞について学ぶ「科学あそび講座」が市立図書館で開催されました。小学2～6年生の68人が参加し、ブロッコリーから白い糸状のDNAを取り出したり、二重らせん構造を再現したストラップを作ったりして知識を深めました。参加者の一人は「細かい作業が多くてストラップを作るのが難しかったけど、うまくできて良かった」と話していました。



①すり鉢を使ってブロッコリーをすり潰す②細胞についてのクイズに挑戦③講師からは関連する本の紹介も④二重らせん構造を再現

団十郎朝顔の贈呈 7月18日



伝統色が夏を彩る

柿色の花を咲かせる「団十郎朝顔」が、朝顔・ほおづき市実行委員会から成田山新勝寺へ贈呈されました。このアサガオは、市川團十郎の歌舞伎十八番「暫」の演目で使用される柿色の衣装にちなんで団十郎と名付けられたといわれ、歌舞伎に縁が深い成田にうってつけ。贈呈に立ち会った関係者らは趣深い花色を珍しそうに眺めていました。団十郎朝顔は8月末頃まで新勝寺光輪閣前で見ることができます。



団十郎朝顔を觀賞する関係者ら

ふれあいコンサート 7月18日



美しい音色で会場を魅了

市民の皆さんに気軽に音楽を楽しんでもらおうと「ふれあいコンサート」が市役所1階ロビーで開催されました。今回は、オーボエ・ピアノ・フルートのアンサンブルユニットTrio il micioが「少年時代」などの夏を感じさせる曲やアイルランド民謡メドレーなどを演奏。観客は会場に響き渡る優雅な音色に耳を澄ませて聴き入っていました。



ハーモニーを奏でる



社会を明るくする運動成田市大会 7月20日



蓮池薫さんを招いて

犯罪や非行の防止と罪を犯した人の更生に理解を深めてもらうことを目的とした「社会を明るくする運動成田市大会」が国際文化会館で開催されました。大会では、田代花梨さん(公津の杜中)と高木ちとせさん(成田中)がコンテストで最優秀賞となったいじめや少年事件をテーマにした作文を発表しました。また、蓮池薫さんによる講演会が行われ、拉致された当時の状況や北朝鮮での生活が詳細に語られました。



① 蓮池さんが熱心に語る ② たくさんの来場者が訪れる ③ 意見をはっきりと伝える田代さん ④ 堂々と発表する高木さん

わくわく感謝デー 7月27日



新鮮な食材と楽しいイベントが

毎月の恒例となった人気イベント「わくわく感謝デー」が成田市場で開催されました。生マグロの解体ショーや野菜が当たるルーレットなどが行われるほか、新鮮な魚や野菜が購入できるとあって、多くの人が訪れます。この日は土用の丑の日ということで、メインイベントはウナギのつかみ取り。参加した子どもたちは、泳ぎ回るウナギを何とか捕まえようと夢中になっていました。



逃げるウナギに大苦戦

れきはく出開帳 7月18日～8月18日



貴重な作品が勢ぞろい

国立歴史民俗博物館が所蔵する浮世絵などを展示した「れきはく出開帳」がスカイタウンギャラリーで開催されています。この展示は、幽霊や妖怪などの「もののけ」がテーマになっていて、会場にはおどろおどろしい作品がずらり。ほかにも、同館を代表する資料である江戸図屏風の複製や、義民・佐倉宗吾の子別れの場面を描いた作品などが展示されました。訪れた人たちは見応えある作品の数々を、目を凝らしながら鑑賞していました。



作品をじっくりと鑑賞